

# 富田牧子 無伴奏チェロコンサート〜ガット弦の魅力

ガット(羊腸)弦を張ったバロックと現代のチェロで



Makiko Tomita Solo Cello Concert  
Baroque and modern cellos played with gut strings.

2020年 2月 24日 (月祝)

14:00 開演 [13:40 開場]

スタジオハル

名古屋市千種区春岡1-25-1



前売 3,000 円 / 当日 3,500 円 / 高校生以下 1,000 円

ご予約 03-6317-8916 ベアータ

【会場お問合せ】スタジオハル(松岡) 052-752-2650

【主催】MA 企画 kikaku\_ma@yahoo.co.jp

(ご予約・お問合せのメールは前日まで)

富田牧子 Web 情報 <http://tomitamakiko.seesaa.net>



J.S.バッハ:

無伴奏チェロ組曲第1番ト長調  
第2番ニ短調

J.S.Bach: Suite for cello solo No.1 in G major BWV 1007  
No.2 in D minor BWV 1008

ゾルターン・コダーイ:

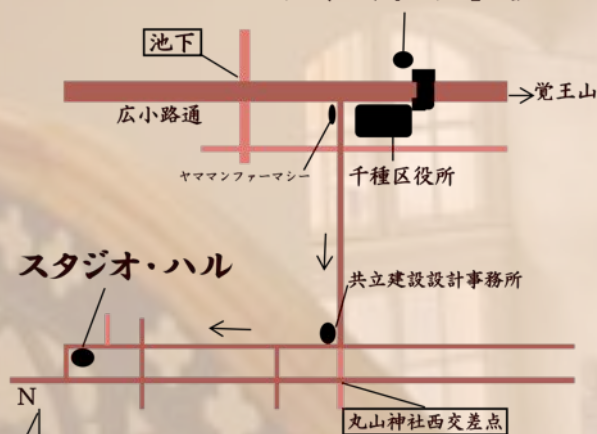
無伴奏チェロソナタ作品8

Z.Kodály: Sonata for cello solo op.8

富田牧子 Makiko Tomita, cellist

東京芸術大学在学中にリサイタルを行い、演奏活動を始める。ヨーロッパ各地の音楽祭や講習会に参加、ソロと室内楽の研鑽を積む。同大学大学院修士課程修了後ハンガリーに留学、バルトーク弦楽四重奏団チェロ奏者L.メズー氏に師事。NHK-FM「名曲リサイタル」、オーストリア放送の公開録音に出演。弦楽四重奏団「クアルテットアルモニコ」のメンバーとして活動する。ピリオド奏法への関心を深め、バロックと現代の楽器にガット弦を張り、様式の異なる弓を使い分け、17世紀から現代までの無伴奏チェロ作品を集めたリサイタルを各地で開催。「充実した内容の音楽を間近で味わうコンサート」の企画を続けている。パーカッションのコスマス・カピッツァとのデュオ《羊とヤギ》で、ヒルデガルト・フォン・ピンゲンなど中世の音楽や民俗音楽を土台に即興を織り交ぜながら独自の世界を展開、2017年CD「O Terra (大地よ)」をリリース。身体と演奏の繋がりを探り、耳を澄まして楽器の音を引き出すレッスンや、倍音を聴きながら調和する弦楽アンサンブルワークショップを行っている。

地下鉄東山線『池下駅』2番出口



地下鉄東山線『池下駅』徒歩7分

駐車場はございません。公共交通機関でお越しいただくか、近隣の有料駐車場、駐輪場をご利用ください。迷われたらスタジオハルへお電話ください。

Photo: Shinichi Kida